

製品名: MAD2L1 結合タンパク質ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83812**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 31 kDa ; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAD2L1 binding protein
別名	Caught by MAD2 protein; CMT2; KIAA0110; MAD2L1 binding protein; MAD2L1-binding protein; MAD2L1BP; MD2BP; MGC11282; RP1-261G23.6;;MAD2L1BP
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q15013
免疫原	ヒト MAD2L1BP 由来の合成ペプチド

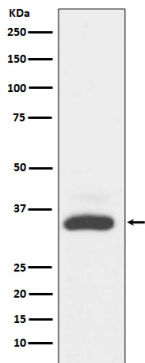
背景

MAD2L1-CDC20 複合体から解離した後、MAD2L1 に結合することで、紡錘体チェックポイントをサイレンシングし、有糸分裂を後期まで進行させる機能がある可能性があります。

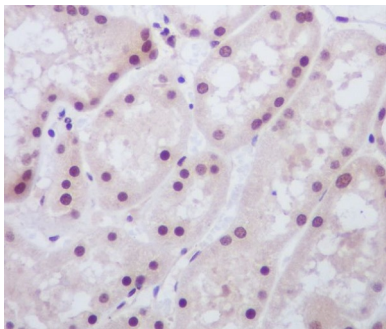
研究分野

-

画像データ



A431 細胞溶解物中の MAD2L1BP 発現のウェスタン ブロット解析。



MAD2L1BP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。